

けあぷろふいーる 吉川 真由美 看護部長



函館中央病院

## 吉川 真由美看護部長 業務を見直し効率化

新人教育はプリセプターとサポーターによる

「たかいたい」と意欲を燃やす。実践したい」と意欲を燃やす。事務作業やミーティングの効率化など、ワークライフバランスを意識した業務改善に取り組み、スタッフそれぞれが看護のやりがいを感じられる職場環境の構築を目指す。

新人教育はプリセプターとサポーターによる

「たかいたい」と意欲を燃やす。実践したい」と意欲を燃やす。事務作業やミーティングの効率化など、ワークライフバランスを意識した業務改善に取り組み、スタッフそれぞれが看護のやりがいを感じられる職場環境の構築を目指す。

# けあ

ぷろふいーる

## コロナ禍の経験糧に 対応力・柔軟性向上

看護師の母の姿を見て育ち、1990年に「看護」の理念のもと、入職。2018年から患者に寄り添う看護を

支援体制を取っている。また人材育成の一ツとして、看護師クリニカルラダーに依りて、地域と連携したサポートや退院を見据えた看護ケアにも力を注いでいる。

新型コロナウイルス感染症では、看護師各々の専門性を発揮しながら、一丸となり乗り越えた。「今振り返ると様々な経験を積み重ねたことにより、対応力や柔軟性も向上し、病院全体で乗り越えるチームワークがさらに強化された。この経験を糧に日々の看護にも活かしていきたい」と前向きな思いを話す。